

緒川村郷蔵の解体後について

1 緒川村郷蔵解体後の取り扱い案

- 令和4年度第2回文化財保護審議会で、郷蔵がもつ黒壁の景観を大事にし、郷蔵のあった場所に郷蔵で用いられた黒壁（下見板張り）を利用して旧道側に黒壁を模した黒板塀を立てる案を提案。
- 令和5年度第1回東浦町景観まちづくり委員会で黒板塀案を説明したところ、今の児童館やボランティアセンターの建物に黒板塀は景観に合わない。下見板張り風の黒板塀は維持管理にコストがかかる、風の影響を受けやすい等の意見が出て、黒板塀の設置を見直す必要がでてきた。
- 黒板塀の設置を行わず、下見板張りの部材を利用した郷蔵説明板の設置を検討。